

◎ 政策の基本情報

総合計画 中期プラン	政策No.	4-1	政策名	地域主体のまちづくり	政策の 目指す姿	個性あふれる地域づくりを活発に行っています	政策 主管課	地域づくり課	政策主管 課長名	菊池 司
	政策の方針	これまで進めてきた住民主体の地域づくりが、より個性にあふれ活発に行われるためには、幅広い世代の市民のさらなる参画と安定した地域づくりの基盤が必要です。 そのために、老若男女多くの住民が地域づくりに参加できるよう意識の醸成を図るとともに、地域づくりの中心となるコミュニティ会議の基盤強化に向けて支援を行います。								

2 成果指標の達成状況

成果指標名	成果指標設定の考え方 (なぜ、この指標で成果を測ることにしたのか)	成果指標の測定企画 (どのように実績を把握するのか)	単位	区分	H27 (基準年度)	H29	H30	R1	R5
この1年間に地域の活動に参加した市民の割合	多くの住民が地域づくり活動に参加している状況を示す指標。 個性あふれる地域づくりを担うのは、そこに住む住民であることから、地域活動への市民の参加状況を指標として設定する。	出典：花巻市(市民アンケート) 問：あなたは、この1年間に次のような地域活動に参加しましたか。次の中からあてはまるものをいくつかも選んでください。 (1)子ども会やPTA活動 (2)資源ごみ回収や市民一斉清掃、花いっぱいなどの環境保護活動 (3)地域のお祭りやイベントへの参加 (4)交通安全、消防団、防犯活動 (5)高齢者団体活動 (6)地域内ボランティア活動 (7)学習活動 (8)伝統文化保存活動 (9)コミュニティ会議の活動 (10)その他 (11)参加していない (1)~(10)のいずれかに参加した人の割合	%	目標値		84.0	86.0	88.0	90.0
				実績値	82.9	85.1	83.9	-	
達成度	[達成状況に関する背景・要因]								
B	実績値は、各年度において目標値の前後の値を推移しており、概ね目標を達成している状況である。 市民が参加している地域の活動で最も多い活動は、資源ごみ回収や市民一斉清掃、花いっぱいなどの環境活動となっており、次いで、地域のお祭りやイベントへの参加となっている。これらの活動や行事は、幅広い世代が気軽に参加しやすいということが、高い割合になっているものと考えられる。【達成度b】								

3 政策に対する各施策の達成度

No.	施策名	成果指標名	H27 (基準年度)	H29			H30			R1		前年実績との比較	達成度
			現状値	目標値	実績値	達成度	目標値	実績値	達成度	目標値	見込み		
1	地域づくりへの参加促進	振興センター利用人数(千人)	277	300	239	c	300	266	c	300		↗	C
		国・県・市の制度を活用した移住者数(人)	35	20	48	a	20	72	a	20		↗	
2	コミュニティ会議の基盤強化	地域の総課題件数のうち、地域で課題解決した件数の割合(%)	81.0	75.0	80.0	a	75.0	84.0	a	75.0		↗	A

4 政策の総合的な評価

評価区分	政策の課題と要因
B-③	地域の特性を活かし進めてきた住民主体の地域づくりが、さらに活発に行われていくためには、地域活動への若者や女性など幅広い世代の市民の参画が必要である。地域の活動に参加している市民の割合は、近年8割以上を推移しており、おおむね目標を達成している状況であり、地域づくりへの市民の関心は高いものと考えられる。一方で人口減少が進む中で役員の負担や担い手不足などの課題は、市内全域での共通課題となっていることから、持続可能な地域自治に向けて新たな取り組みが必要である。定住・移住の推進については、移住者が増加しているが、引き続き、支援を継続していく必要がある。
概ね順調	

成果指標達成度	A				
	B	☆			
	C				
	D				
		④	③	②	①
		政策に対する施策の達成度			

5 政策を構成する施策一覧

施策名	地域づくりへの参加促進	施策の成果指標の達成状況	H29	C	H30	C
1	[課題] ・地域活動の拠点である振興センターの長寿命化への計画的な対応が必要である。 ・本市の魅力を効果的に発信するためには、情報発信サイトの充実をは図ることが重要であり、ライタースキルアップや内容の見直しを行っていく必要がある。 ・婚活支援については、市民のみを対象とした事業では限界があることから、より広域的な活動を支援する必要がある。					
	[今後の方向性] ・地域活動の拠点である振興センターについて、利用者の安全確保と利便性の向上を図るため、公共施設マネジメント計画に基づき、適切な施設管理を行っていく。 ・「まきまき花巻」の運営については、引き続き専門講座の開設によるライターのスキルアップを進めるとともに、地域おこし協力隊員を同サイトの専属のリーダーとして担当させ、内容の充実を図っていく。 ・岩手県内を対象として活動する「いきいき岩手結婚サポートセンター」の情報を市民に広く周知するなど、広域的活動の支援を進める。また、同団体の活動のフォローアップ等を、はなまき婚シェルジュの活動として展開していく。					
2	[課題] ・コミュニティ会議を中心とした地域づくり活動がより効果的に行われるためには、マネジメント力の向上が必要である。 ・地域づくり活動を担う人材の確保と育成が必要である。 ・人口減少が進む中で持続可能な地域自治に向けたしくみの改善が必要である。					
	[今後の方向性] ・コミュニティ会議を中心とした地域づくり活動がより効果的に行われるために、中間支援組織や行政との連携を推進する。 ・地域づくり活動を担う人材の確保と育成を図るため、ファシリテーター養成やノウハウの提供を行う。 ・持続可能な地域自治を目指し、新たなしくみを構築するため、コミュニティ会議との協議の場をはじめ、地域自治に関する懇談会による検討を継続する。					
施策名	コミュニティ会議の基盤強化	施策の成果指標の達成状況	H29	A	H30	A